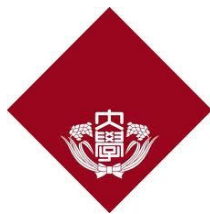


# 議会改革度調査2014

## 議会と住民が対話する場とその工夫

議会への住民参加のあり方が問われています。「議会として」住民と意見を交わす場が重視される一方で、テーマ設定や運営手法など、課題に直面する議会が増えています。今回は、議会報告会・住民説明会・意見交換会などの **議会と住民が対話する場とその工夫** について考えます。



早稲田大学マニフェスト研究所  
議会改革調査部会

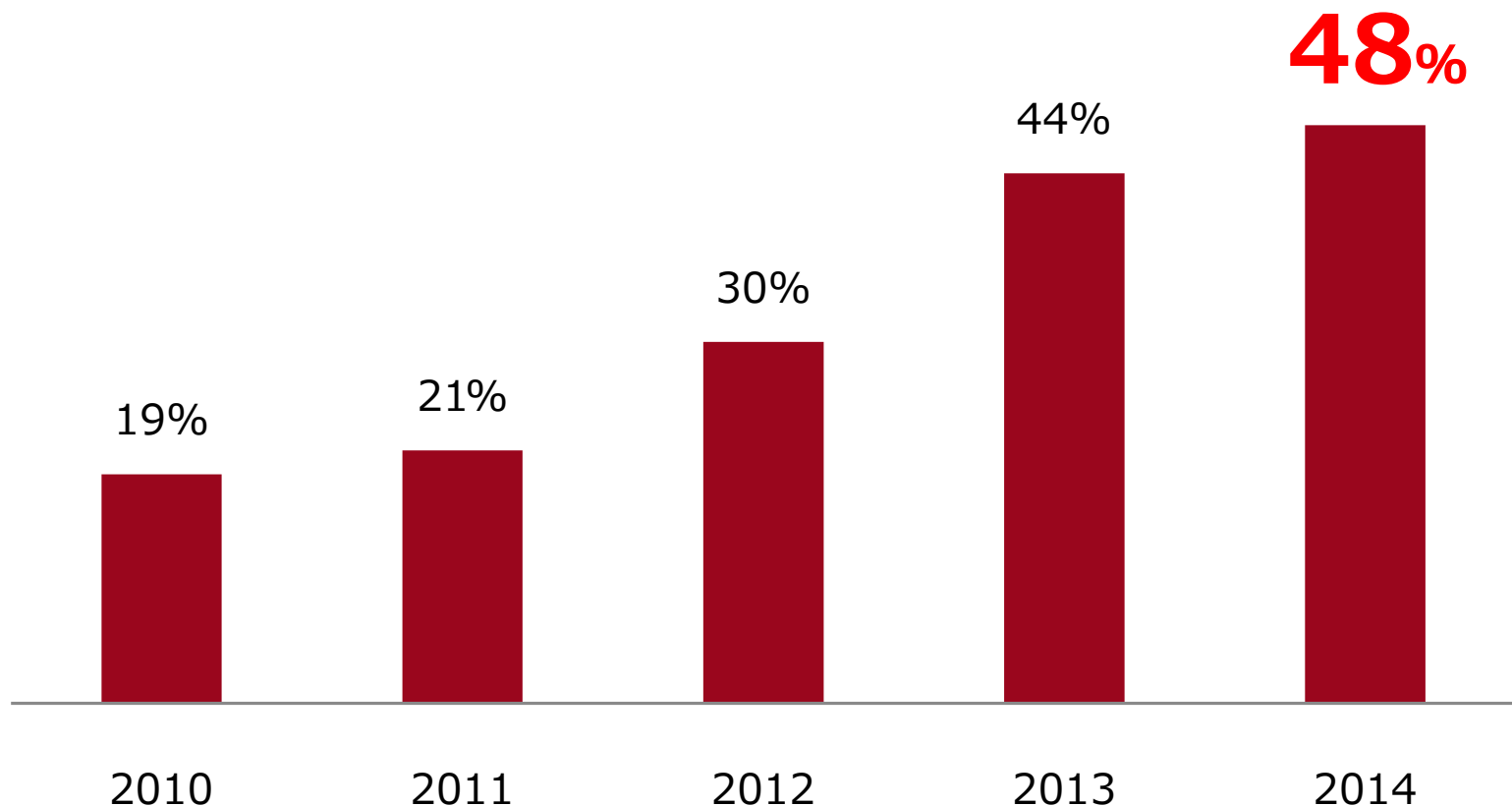
Q. 「議会が住民に説明する場」を設けていますか？



※議会改革度調査2014に回答した1503議会から  
未回答を除いた1481議会の割合

## 「議会が住民に説明する場」約半数が開催

議会報告会、住民説明会、意見交換会など、  
「議会が住民に説明する場」を開催している議会は  
毎年増加し、2014年度はほぼ半数に。



## 制度化（義務づけ）は2割

議会基本条例に議会報告会の開催を義務付けしている議会は  
まだ2割程度にとどまっている。



# 議会報告会に関する議会の悩み

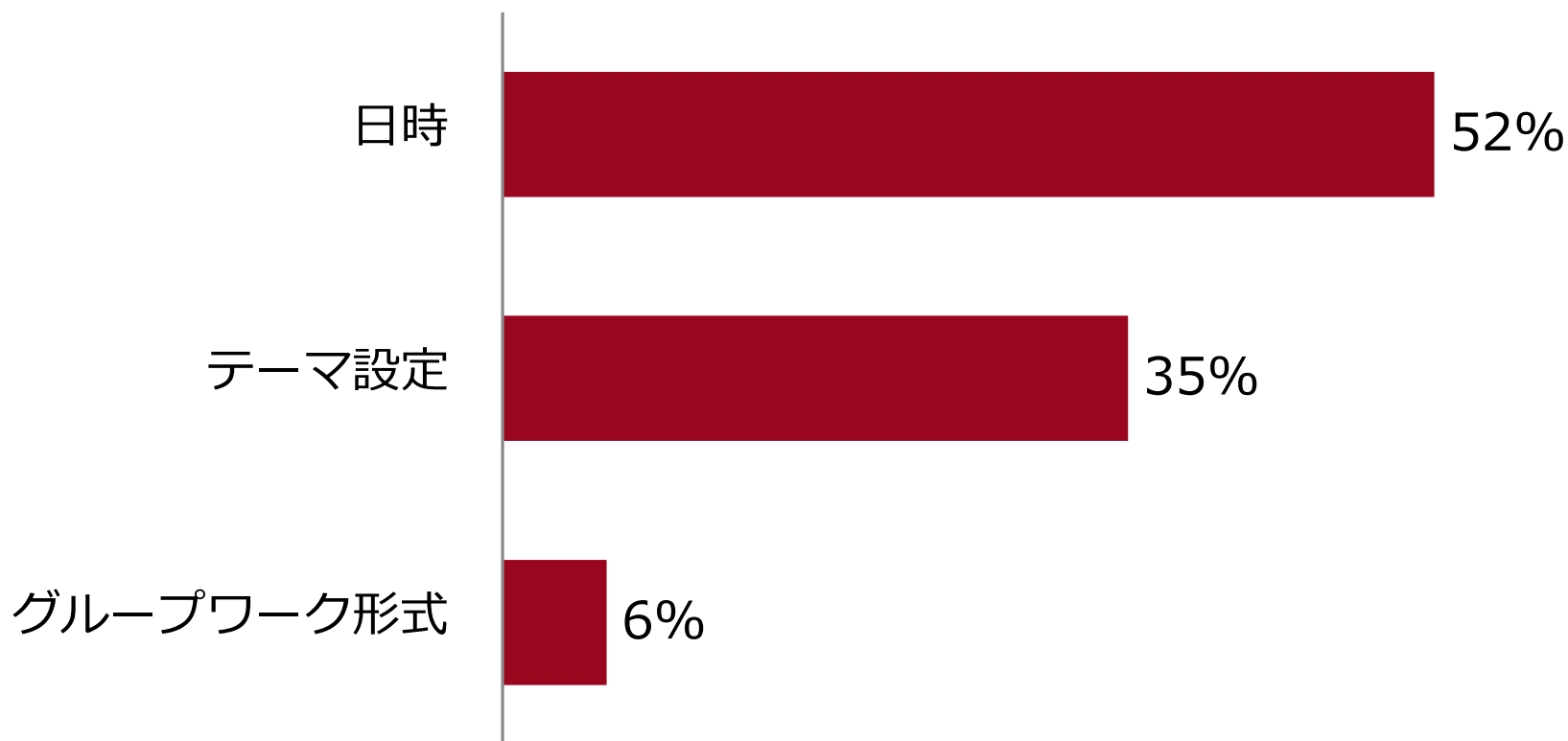
開催して悩むこと、開催できずに悩むこと

- ・参加者の減少と固定化（女性・若者が少ない）
- ・似たようなテーマ設定  
→参加しても面白くない、参加しにくい
- ・説明責任が増えるため議員が嫌がる
- ・ワークショップ形式に消極的な議員
- ・議会の糾弾会になりがち  
→開催について議員の合意形成が難しい

（自由記述より。議会報告会などの説明する機会に関する課題や懸念などを抜粋。）

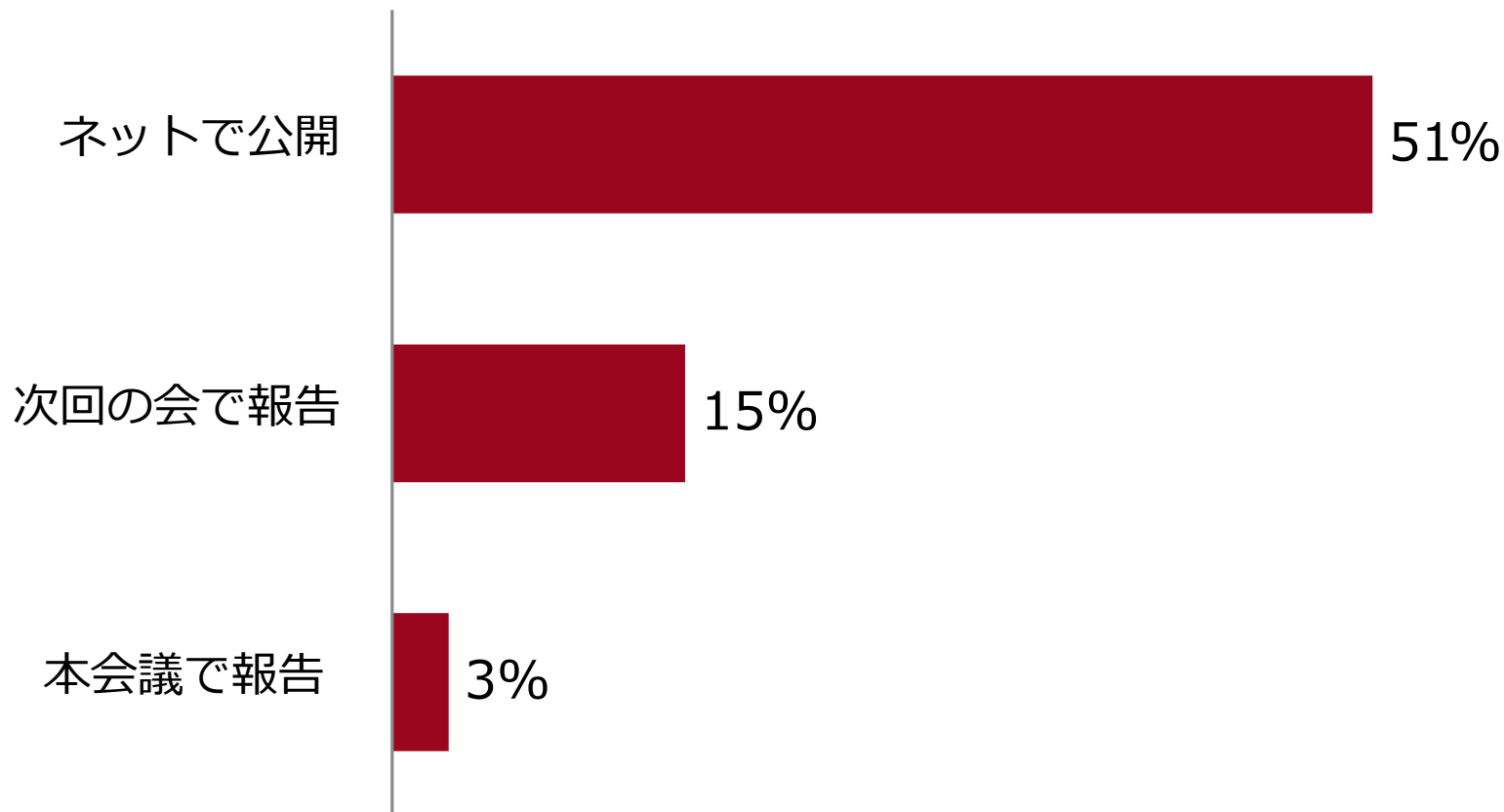
# 開催方法に関する工夫

市民が参加しやすい日時を設定する議会は5割程度、ただし内容について市民が興味を持ちやすいテーマの設定やグループワーク形式の導入はあまり進んでいない。



# 住民意見の取扱い (※) における工夫

質問や要望が出た場合、半数以上はネットで回答を公開。  
一方、次の開催日や本会議で報告している議会は少数。



※「住民意見の取扱い」は、住民説明会・意見交換会・議会報告会等で出た質問・要望およびその回答について、事後どのように取り扱っているかを聞いた。

# 先進事例①：可児市議会

県立可児高等学校が実施する「地域課題解決型キャリア教育」事業を支援。若い世代、とくに高校生が様々な職種や経験を持つ大人と関われる場づくりに力を入れている。

## 可児高等学校地域課題解決型キャリア教育支援事業 可児市議会地域課題懇談会 可児医師会 × 可児市議会 × 可児高等学校

可児市議会では、平成26年2月に行った高校生議会において可児高等学校の生徒から「地域課題に若い世代が関わる機会を設けることについての意見書」を受け取っており、それに基づいて7月12日に「可児市議会地域課題懇談会」を行いました。



### 第1部 可児医師会 熊谷豊一会長の講演 「これからの道、どう選び、どう決める？」

熊谷会長からは、地域医療の現実と、これからの医療のあり方などについてお話がありました。また、「ときめき」を持つような仕事を選ぶこと、何事もあきらめず、時間をかけて努力していくことが大切であるというお話をいただきました。



### 第2部 グループ討議「安心なまちづくりのために」

医療と健康をテーマに、医師、保健師、議員、可児高等学校生徒が8つのグループを作り、討議を行いました。地域の課題について、話し合い、その解決策を探るもので、活発な意見交換がなされました。



地域医療や高齢化社会について意見を交わす可児高校生や医療関係者、市議ら＝可児市の市総合会館で

の二十三人と市議十八人が出席。八つのグループに分かれ、医療問題、高齢化社会の対応策を議論した。生徒からは「若い人と高齢者が支え合えるよう地域の連携を深める」「病院以外でできる健診機会をPRしていく」「かかりつけ医を浸透させる」などの提言が出た。熊谷豊一医師会長は「可児地域を長いスパンで考えていかなければならない」と講評した。川上文浩議長は「可児のことを高校生に知ってもらい、意見を若い世代が暮らしたいと思える町づくりに生かせる場。産業や防災など、他の分野にも発展させていきたい」と話した。（速藤康訓）

## 地域の医療と福祉考える

### 可児高校生と市議、医師会

可児市の可児高校と一組む「地域課題解決型キャリア教育」の一環の「地域課題懇談会」を可児市議会、可児医師会、可児高等学校が主催し、市議、医師、高校生ら約二十人が参加し、地域医療、福祉課題について意見を交わした。懇談会には、二

開かれた議会の推進と議会の将来性への寄与となることを目的としている。

出典1：可児市議会だより 第53号.indd

<http://www2.city.kani.lg.jp/sigikai/toplogo/gikaidayori/53.pdf>

出典2：中日新聞（2014年7月13日）



## 先進事例②：久慈市議会

- ・ 議会基本条例に「かだって会議」の設置を明記。  
（「かだって」は、一緒になる意味の「かだる」と語り合う意味の「かだる」  
2つの方言の意味が込められた名称）
- ・ ワークショップ「ワールドカフェ」の手法を採用。



12月に「女性版かだって会議」を開催。  
リラックスできる雰囲気づくりの工夫も。

出典：「『ファシリテーション』を身につけ議会に『対話』の文化を」（早大マニ研 佐藤淳／政治山記事）  
[http://seijiyaama.jp/article/columns/w\\_maniken/wmk03\\_26.html](http://seijiyaama.jp/article/columns/w_maniken/wmk03_26.html)

## 先進事例③：滝沢市議会

- ・ 議会基本条例に「市民議会」を位置づけ。
- ・ 「干支議会」と題し、2015年の干支であるひつじ年の、12歳～72歳まで10組15名が市民議会議員として参加。



ひつじ年生まれの市民議会議員が議場に着席。  
「議会への理解と親しみを深めるための市民参加」を目的としている。

出典：滝沢市議会ホームページ 平成27年市民議会開催  
<http://www.city.takizawa.iwate.jp/27shimingikai>

# 先進事例④：紫波町議会

エリアを小さくするため、町内の自治公民館を対象に「手挙げ方式」で実施。事前に109の自治公民館長宛に通知を送り、開催を希望する日時等の連絡を受付け。

| 開催日                           | 1班   | 2班                               | 3班                               | 4班   |
|-------------------------------|--|----------------------------------|----------------------------------|--|
| 11月4日<br>(火)                  |  | 赤石 活力センター<br>18:30~<br>(蘆沼)      | 日詰 15区公民館<br>18:30~              | 長岡 栃内公民館<br>18:30~                         |
| 11月5日<br>(水)                  | 赤石公民館<br>18:30~<br>(白石・船久保)                | 古館 前郷公民館<br>19:00~               | 水分 上松本自治公<br>民館 18:30~           | 赤石第七区公民館<br>18:30~                         |
| 11月7日<br>(金)                  | 日詰 2区公民館<br>18:30~                         |                                  | 長岡 横沢公民館<br>19:00~               | 彦部 墨山上通公民<br>館 18:30~                      |
| 11月8日<br>(土)                  | 赤石 廿木公民館<br>18:30~                         | 日詰 8区公民館<br>18:30~               | 赤石 野沢公民館<br>19:00~               | 古館 上町公民館<br>19:00~                         |
| 11月9日<br>(日)                  | 彦部 川前自治公民<br>館 10:00~                      |                                  |                                  |  |
| <b>議 員<br/>班編成<br/>(○は班長)</b> | ○横澤 敏男<br>中川 秀男<br>佐々木栄子<br>鷹木 嘉孝<br>村上 秀紀 | ○田村 勝則<br>石川 喜一<br>高橋 進<br>及川ひとみ | ○岡田 尚治<br>深澤 剛<br>北條喜久男<br>作山 秀一 | ○藤原 恵子<br>細川 恵一<br>藤原 栄孝<br>箱崎 勝之<br>藤原 修一 |

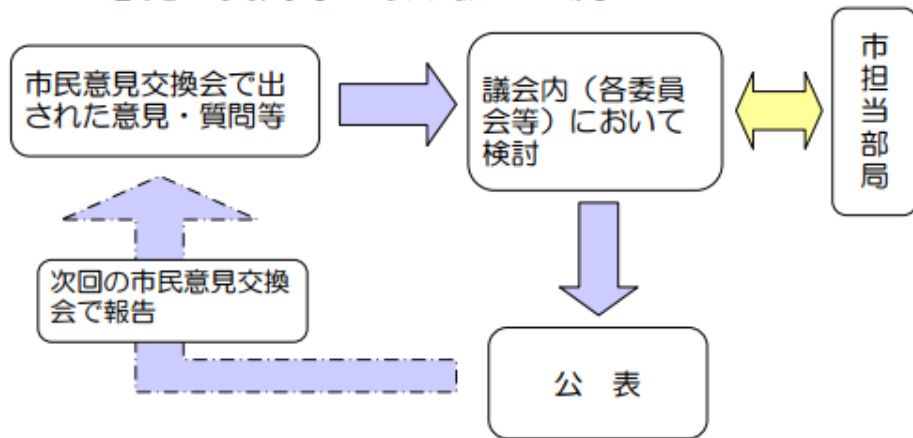
2014年は15カ所  
で開催。合計228  
名が参加した。

出典：紫波町議会ホームページ 議会報告会  
<http://www.shiwa-gikai.jp/modules/pico8/index.php?page=menu>

# 先進事例⑤：大分市議会

議会基本条例のなかに、「市民との意見交換会の開催等により、議会が行う活動に市民が参加できる機会を確保するとともに、市民の意見を反映させた政策提言の拡大を図る」と明記。

## 4. 意見・質問等の取り扱いの流れ



- 総務常任委員会 (PDF:238KB)
- 厚生常任委員会 (PDF:100KB)
- 文教常任委員会 (PDF:100KB)
- 建設常任委員会 (PDF:100KB)
- 経済常任委員会 (PDF:100KB)
- 総合交通対策特別委員会
- 地域活性化対策特別委員会
- 広報委員会 (PDF:70KB)
- 議会活性化推進会議 (PDF:100KB)

委員会ごとに対応状況を公開している

| 番号 | 委員会等で整理した市民からの意見・質問等   | 意見・質問等に対する対応（執行部からの回答内容を含む）   |
|----|--|---|
| 1  | 個人情報の保護に対する注意喚起及び災害時における個人情報の活用について、見解を聞きたい。   | 担当部局から、「本市が保有する個人情報の保護するためには、職員の情報取り扱いに関する意識向上が重要となることから、そのための研修を定期的に開催しているが、状況として全国的に個人情報の漏えい事件が発生していることを踏まえ、研修会においてそのような具体的な事件を教材として取り込み、基本的な事項のための注意喚起に努めていく。また、地震などの災害が発生した際は、市民の生命や財産等の安全を守るため、実行の個人情報保護委員会において、緊急時の措置として、必要な個人情報を庁内で共有することはもちろんのこと、外部に対して提供することが認められている。さらに、このような災害の発生に備えて、災害時に避難支援を要する方へ『避難行動要支援者』の情報を、災害時においても自治会員などの外部の関係者に提供できるように、福祉事務所を中心に同意を得るための取り組みを進めている。」との回答がありました。   |
| 2  | 昨年9月に行われたシェイクアウト訓練では、避難方法やアンケート記入など、地域住民への説明が十分でなかったと聞く。今後シェイクアウト訓練を実施するにあたり、その点の検討が必要と考えるが、見解を聞きたい。 | 担当部局から、「平成26年10月1日に実施したシェイクアウト訓練は、地震を想定した『1つでも、どこでも、だれもが』比較的確にできる『姿勢を低く、頭を守り、しゃべらず』安全行動で、『日本シェイクアウト推進会議』が定める事前登録方法などの認定基準に基づき実施する訓練であり、これまで本市主催の防災訓練の事後報告方法とは異なることや、シェイクアウトという言葉自体になじみがないことで、訓練の認知や実施を難しくするといった自治会組織（自治会）もあつたが、その内容を丁寧に説明することで、登録を促してきた。その結果、450自治会（71,200人）の登録をいただいたが、自主防災隊長（自治会長）及び自主防災委員（自治会）役員の情報からは、参加者の事前登録者の認識や住民への訓練内容の認知度などを把握し、大きなきもであったとの意見が各報告された。このシェイクアウト訓練は、地震発生時の前倒対応として命を守る重要な行動訓練であることから、今後は、認知法や実施方法等を再考検討し、多くの皆様に理解をいただけるよう取り組んでいきたい。」との回答がありました。 |

出典：大分市議会ホームページ 平成26年 市民意見交換会の対応状況

<http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1430359451998/index.html>

# 先進事例⑥：会津若松市議会

- ・ 議会の広聴機能を強化し、議会内の議論や政策形成につなげていくため「市民との意見交換会」を開催。
- ・ 意見集計表を作成し、審議や課題の分析・検討の過程において活用している。

「政策討論会」「議会制度検討委員会」「広報広聴委員会」「市長」何処に送付したか公開している。



 [02\\_第13回市民との意見交換会意見集計表\(政策討論会 各分科会へ送付したもの\).pdf\(325KB\)](#)

 [03\\_第13回市民との意見交換会意見集計表\(議会制度検討委員会へ送付したもの\).pdf\(235KB\)](#)

 [04\\_第13回市民との意見交換会意見集計表\(広報広聴委員会へ送付したもの\).pdf\(236KB\)](#)

 [05\\_第13回市民との意見交換会意見集計表\(市長へ送付したもの\).pdf\(329KB\)](#)

出典：会津若松市議会ホームページ 市民との意見交換会

<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/bunya/shiminikenkokankai/>

## ① 議会基本条例に明記する

議会報告会や意見交換会など住民と議会とが対話する機会を設けることは議会活動の原点ともいえる。住民と議会とが対話することを議会基本条例に明記し、義務付けることが望ましい。

## ② 議会報告会（意見交換会）を開催する

予算配分等の情報共有や住民自治の成熟の観点から、議会報告会や意見交換会は重要であり、会を設けるために準備するプロセスは議会自身の資質向上にもつながる。

## ③ 参加しやすい、語り合える場をつくる

ワークショップ形式を取り入れるなど、対話が弾む手法を取り入れる。また、住民が「参加しやすい」「意見が出しやすい」テーマ設定や場づくりにつとめる。

## ④ 現在、未来の話を中心に

「決まったこと（過去）」を報告するだけでなく「今、課題になっていること（現在）」「これから課題になりそうなこと（未来）」等について意見を聴く場を設ける。

## ⑤ 政策形成サイクルに取り入れる

住民の意見や議論を政策づくりに活かすため、議会のなかで、政策形成サイクルに取り入れる仕組みづくりを担保する。また、住民からの要望や意見がどのように反映されたか進捗等を公開する。

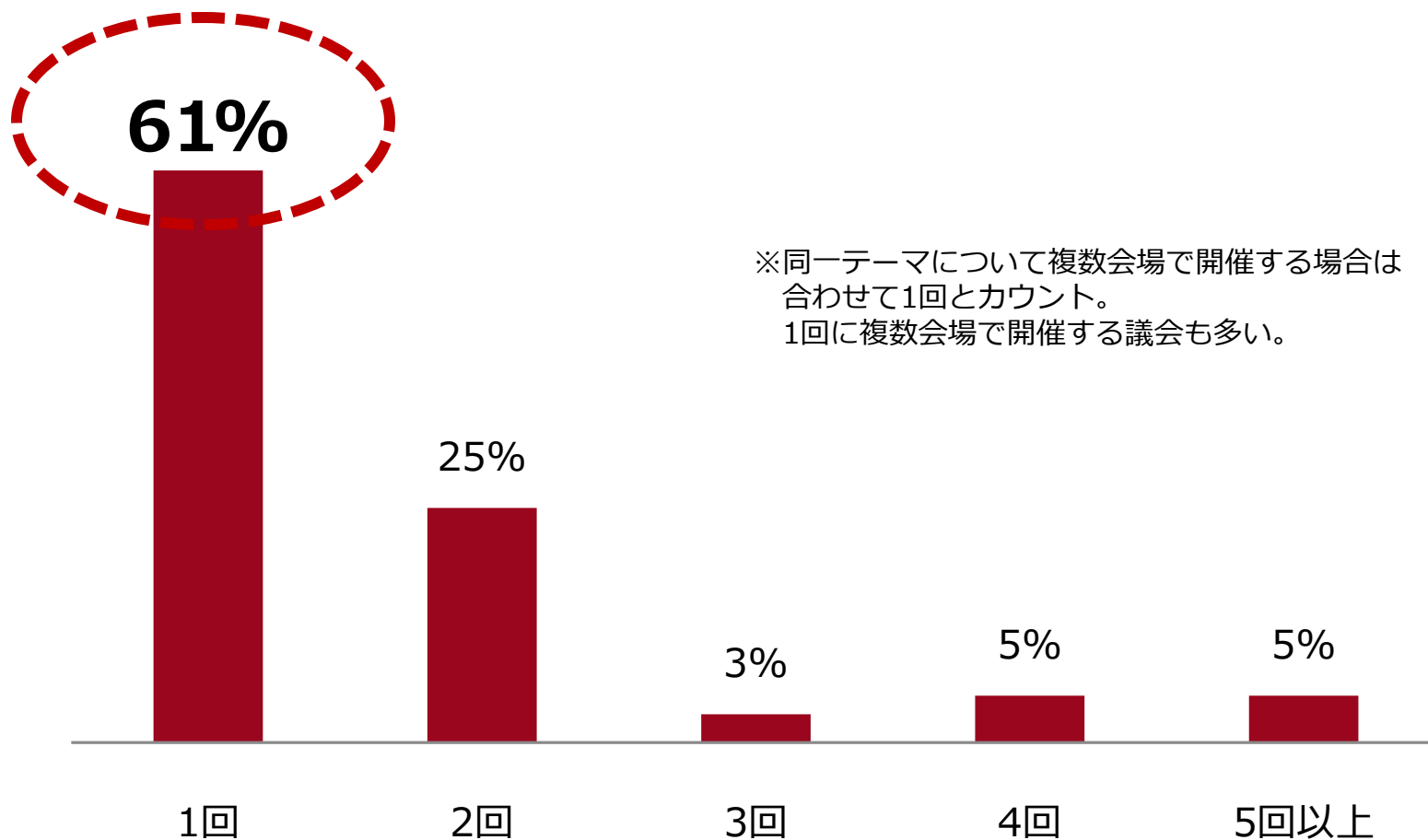
## ⑥ ファシリテーションスキルを身につける

活発な話し合いをおこなうためには、進行係の役割が重要となる。

（内容をわかりやすく整理・共有し、結論を導き出していくために道具を使うことも有効）。議員や議会事務局職員がファシリテーションスキルを身につけることも効果的な話し合いにつながる。

## 参考) 年間の開催数

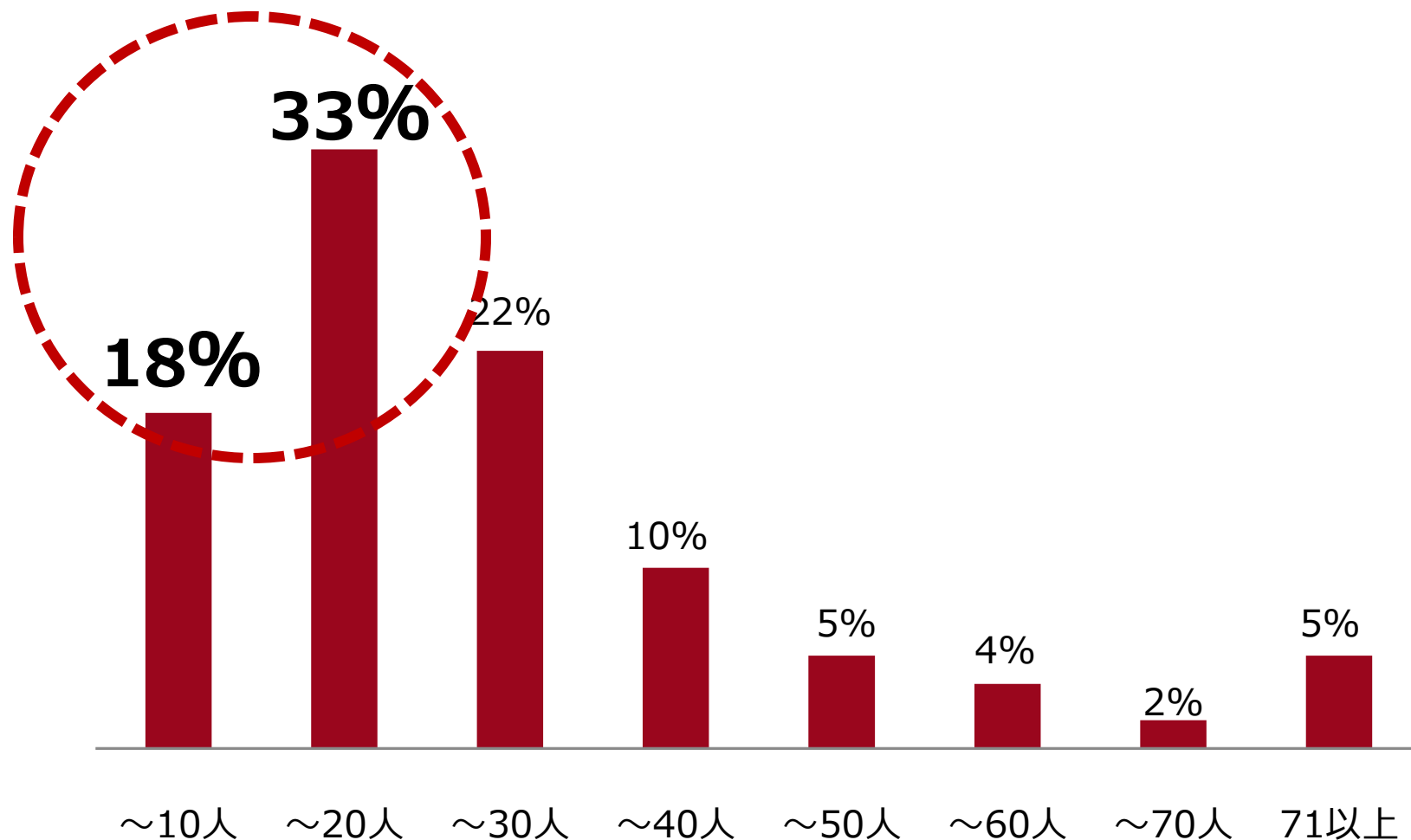
年間の開催数(※)は、1回が6割超で最多。





## 参考) 平均参加者数

1会場あたりの平均参加者数は、20人以内が5割超。



# 今後について

- ・ 今後、「議会改革度調査2014」に関する分析結果は当研究所Webサイトに順次公開していきます
- ・ 効果的な議会報告会の手法や、ファシリテーションのスキルアップなどについて「議会として研修を行いたい」と考えておられる議会がございましたら、当研究所までお問い合わせください。

早稲田大学マニフェスト研究所  
<http://www.maniken.jp/gikai/>

<お問合せ先>

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 西川、永尾、青木

TEL：03-6214-1315 E-MAIL：[mani@maniken.jp](mailto:mani@maniken.jp)

WEB：<http://www.maniken.jp/>